

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人理念を主な場所(玄関入り口・食堂・居間・事務所等)に貼っている。また、職員会議や、運営推進会議の中でも、理念を取り入れ、全体共有し、実践につなげている。			会議や研修会実施の際には、法人理念を取り入れ、理念に基づいた関わり(ケア)を行うように努めている。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	インフルエンザ感染の拡大やコロナ禍明けのため、地域交流は少なめであるものの、感染拡大防止に気を付けながら、近隣行事(城まつり)に参加した。日々の交流も少しずつ増やしていく計画であり、今年も地域でのふれあい作品展に入所者の作品を展示していただき、作品展展示会に出かける等、少しずつ地域交流回復に向けて検討中である。コロナ禍前は、地域自治会と合同の防災訓練を行い、訓練後に認知症予防等の啓発研修会を開催していたが、今年も出来ていないため、次年度計画に入れていく必要がある。	コロナ禍にて訓練も十分とは言えず、今後としては、訓練通りにいかないこともあるであろうが、来期に向けて、徐々に地域(自治会)との合同訓練ができるようにしていく必要がある。 各個人の居室の表示についても継続していくとともに、地域の方に入所者さんの顔を知っていただき、グループホームの入所者であることが理解できるように玄関内にも、写真を掲示していくことを検討する必要がある。		コロナ禍にて訓練も十分とは言えず、今後としては、訓練通りにいかないこともあるであろうが、来期に向けて、徐々に地域(自治会)との合同訓練ができるようにしていく。 各個人の居室の表示についても継続していくとともに、地域の方に入所者さんの顔を知っていただき、グループホームの入所者であることが理解できるように玄関内にも、写真を掲示していくことを検討していく。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	周辺地域の感染症の感染(コロナ感染・インフルエンザ感染等)状況をみながら、現在入所中の利用者やサービスの実際や取り組み状況等について報告している。また、運営推進会議の中での意見をサービス向上に反映できるようにしている。コロナ禍前は、地域自治会と合同の防災訓練を行い、訓練後に認知症予防等の啓発研修会を開催していたが、今年も出来ていないため、次年度計画に入れていく必要がある。	運営推進会議を活かした取り組みということで、会議参加者からの意見や提案を、ケア場面に活かす。 地域での開催行事に出席(参加)すること等により、栄町グループホームでのケア方針に繋げていく。 今後も、コロナやインフルエンザ感染等の感染症拡大防止に注意しながら、徐々に地域行事(お祭り等)に出席(参加)していき、活動の幅を広げていく必要がある。 今年度は、合同開催できなかった防災訓練についても、以前のように自治会		運営推進会議参加者からの意見や提案を、ケア場面に活かすということで、今後も、コロナやインフルエンザ感染等の感染症拡大防止に注意しながら、徐々に地域行事(お祭り等)に出席(参加)していき、活動の幅を広げていく。 今年度、合同開催できなかった防災訓練について、自治会長に相談しながら、来年度の防災訓練開催に向けて動いていく。

					<p>合同開催に向けて、自治会長に相談しながら、来年度の防災訓練開催に向けて動いていく必要がある。</p>	
4	市町村との連携	<p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>高齢福祉推進課に現状を報告・相談し、日々のケアが向上するように努めている。また、運営推進会議の開催結果報告も行っている。また、今後の施設運営の方向性についても相談し、実情に応じた運営ができるように努めている。</p>	<p>栄町グループホームは、建物の構造が2階建て(木造)となっており入所者の高齢化等に伴い、2階居住者を、少しずつ1階居住へ変更できるように、検討中である。但し、災害(風水害・火災等)場面においては、一部、垂直避難が有効となる場合もあるため、要検討。水害等で避難が困難となった場合、1階から2階へ垂直移動避難ができるというメリットはあるが、高齢化や下肢筋力の低下や、車いす生活者は、垂直移動が困難な場合がある。職員が抱えて垂直移動避難(1階⇒2階)が可能である場合は実施できるものの、万が一移動が困難な場合に備え、ライフジャケットも準備している。</p> <p>入居者に、下肢筋力低下等が認められているが、現時点では4名の方が2階で生活している。そのうち1名の方について、2階から1階へ居室を移動することを検討中。</p> <p>事務所として使用していた部屋(1階)を、居室に変更していく。</p> <p>居室の変更に関しては、消防法やスプリンクラーの設置位も含めて検討中。</p> <p>今年度の運営指導結果を踏まえ、改修を検討していく必要がある。</p> <p>グループホームの老朽化および入所者の高齢化等に伴う医療依存度を考慮し、適宜、彦根市高齢福祉推進課に相談しながら、今後の施設改修工事を検討していく必要がある。</p> <p>災害対策については、次年度までに避難も含めて検討する必要がある。</p>	<p>当法人グループホームの老朽化および入所者の高齢化等に伴う医療依存度を考慮し、適宜、彦根市高齢福祉推進課に相談しながら、今後の施設改修工事を検討していく。また、今年度の運営指導結果も踏まえ、施設内の改修を検討していく。</p> <p>災害対策については、運営推進会議内での話し合いの記述内容の通りであるが、施設建物の構造が、木造2階建てのため、入所者の高齢化等に伴い、居住者を、少しずつ2階から1階居住へ変更できるように、検討していく。但し、災害(風水害・火災等)場面においては、一部、垂直避難が有効となる場合もあり、水害等で外部への避難が困難となった場合には、1階から2階へ垂直移動避難ができるというメリットはある。</p> <p>入所者の高齢化や下肢筋力の低下、車いす生活者は、垂直移動が困難な場合もあり、職員が抱えて、垂直移動避難(1階⇒2階)が可能である場合は実施していく。万が一垂直移動避難が困難な場合に備え、ライフジャケットも準備している。</p> <p>次年度までに避難も含めて検討していく。</p>

5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束禁止の対象となる具体的な行為について、職場内研修の実施や、外部研修に参加するとともに、運営推進会議でも話し合う機会を持ちながら、理解に努めている。夜間のみ玄関の施錠している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	滋賀県認知症介護指導者による身体拘束禁止に対する内部研修を実施するとともに、外部研修にも参加している。 年間4回の身体拘束適正化検討委員会を開催している。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	高齢者虐待防止関連法について職場内研修の実施、外部研修への参加を行っている。ケア時(入浴や更衣時等)にも全身状態の観察を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	項目5と同様に、滋賀県認知症介護指導者による研修の実施にて内部研修を行い、「虐待の芽に気づく」アンケートを実施している。入浴や更衣の時には全身を確認しており、虐待防止に努めている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	実際に成年後見制度を利用しておられる方も入所中であり、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について、職場内研修の実施を行っている。また、制度が活用できるようにも支援している。			実際に、成年後見制度を利用している入所中であり、生活自立支援事業や成年後見制度を利用されている方おり、権利擁護に関する内部研修も実施している。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約締結等の際には事前に面談の機会を設け、利用者および家族と、不安や疑問を解決したうえで、契約できるように説明を行っている。又、契約書は事前に手渡し、熟読してもらう期間を作り、その後、締結させている。			契約の締結や解約、改定時等の際には十分に説明を行ったうえで理解納得していただけるように心がけている。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	来訪時や電話等の機会を利用するとともに、利用者の意見や要望を聞いて支援している。また、日々の生活場面でも、ご本人の要望を聞き、家族へ報告したり、意見交換しながら、ケアプランにも反映させている。グループホームの玄関入口付近にも意見箱を設置している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	意見や要望が意見箱に投書される機会は少ない。意見箱の設置は継続していくこととする。しかし、日々の生活場面において、本人の要望を聞き、家族へ報告すること、ご家族来訪時には、直接意見交換を行い、その結果をケアプランに反映させている。 今後、アンケート調査実施することについては、導入に向けて、検討していく。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	申し送りやミーティング、職員面談の際に意見交換の機会を持ち、業務改善に繋がるように努力している。決定事項は申し送りノ			代表者は職員の意見や提案を聞けるように、月に一度、全体ミーティングとしてケア会議を開催し、運営に映させている。

				一同等に記載し、後日、非番の職員が、確認できるようにしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の希望休を優先して勤務表を作成し、向上心を持って働けるように賞与の支給、賃金の引上げを行う等努力している。また、同時に備品の整備や改修も行いながら、働きやすい職場環境の提供に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の個々の家庭事情等も考慮した勤務体制をおこなっている。休暇と仕事のメリハリをつけ、向上心を持った働きができるように、賞与の支給や賃金の引上げ、スキルアップ支援ができる環境にも努めている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は一人ひとりのケアの実際と力量を把握するため、年間目標管理シートを基に面談を行い把握するとともに、職場内研修や外部研修の資料等を活用し、職員教育を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	滋賀県認知症介護指導者による内部研修の実施や、ZOOM等オンライン研修にも参加できる環境を作っている。上記以外にも、職員個々の力量把握と目標管理シートを基に面談の実施する機会を作っている。また、一人一人の職員スキルに応じて、滋賀県認知症関連研修会への参加を促し、スキルアップの機会を設けている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	彦愛犬事業者協議会に加入している。コロナ禍のために部会が中止となることもあるが、書面案内やリモートアクセスを通じた勉強会に参加している。			彦愛犬事業者協議会に加入しており、現在は主に書面での意見交流を行っている。勉強会についても、オンライン参加を行っている。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の得意なことや興味がある行為を尊重しながら、時に、ぬか漬けを漬けたり、歌を歌ってみたり、洗濯物畳みながら、お話をしたりする等、様々な特徴を尊重しながら、個々の特性等を活用できるようにしている。			認知症高齢者が共に生活する中で、個々の残存能力に応じて、日々の家事等を一緒に行っている。利用者の要望に応じて、散歩や日光浴等外出し、刺激がある機会を作るよう努めている。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍は、基本的に玄関先での面会対応としていたが、コロナ禍明けからは、施設内での面会やボランティア活動の受け入れも行っている。コロナ禍明けとなったことで、遠方にお住いのご家族も久々の面会となった。家族とは	馴染みの関係ということで、地域行事に参加することで、地域の人に会うことができる。地域(近所)の美容室へ行けるように調整する等、普段の生活の中に関係性の構築、継続支援ということを織り込んでいくことができたということを実践で繋げていく必要がある。		コロナ感染やインフルエンザ感染に注意しながらも、面会できるように実施を継続していく。 年末年始の外泊や外出や、その際の、急な帰所にも対応できるということで、ご家族にも、安心して外出等を行っていただけるようにしていく。今後

				<p>リモート面会ではなく、実際に面会できることで、馴染みの関係性を維持につながった。また、時に彦根市の催事である「城まつり」や、庄堺公園のバラ園観賞に行くなど、馴染みの人とのやり取り、手紙や電話でのやり取りも継続してできる環境作りを行っている。近所の美容室にカットに行き、社会資源の活用にもつながった。</p>	<p>現時点で、年末年始の外泊や外出の希望は伺っていないが、急な希望にも対応できるようにしていく。仮に、外泊や外出中に、対応困難となった場合にも対応は可能。</p> <p>現時点においても、病院等では、面会制限が継続されているところもある。リモート面会のみとなっているところもある。しかし、栄町グループホームでは、面会等が可能となっており、認知症の方にとって、とても良いことであると思うとの意見あり。</p> <p>また、直近で看取りのケースが1名あったが、このような際にも、家族が頻繁に面会に来れるように配慮した。</p>		<p>も、感染症が拡大した場合に備えて、ZOOM やライン等のオンライン面会ができるように準備しておく。手紙や電話のやり取りができる環境づくりにも努めている。</p> <p>入所者の高齢化および医療依存度の高度化に伴い、看取りケースが求められる可能性も高く、看護師3名での体制を維持し、かかりつけ医(協力医)と連携していく。</p>
--	--	--	--	--	--	--	--

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>毎日の生活の些細な会話からご本人のご希望・意向の把握に努めている。困難な場合、わずかなしぐさや動き、表情で意向を推測して反応を確認しながら介助に努めている。</p>			<p>意思疎通の困難な利用者の僅かなサインを見落とさないように職員間で情報共有し、日々のケアに取り組んでいる。</p>
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>ケアプランに基づいたケア計画の実施、3か月毎にモニタリング・カンファレンスにて計画の修正・見直し、検討会議にて、個々の課題やケアについて話し合いを行っている。</p> <p>目標項目毎に、振り返りも行うとともに、日々の介護日誌上でも確認したり、定期的な訪問診療や定期受診の機会に主治医やご家族とも話し合い、状態の変化に応じて、介護計画に見直す等、自施設の職員のみで実施することが無いようにしている。</p>	<p>グループホームの入所者一人一人について、担当の介護支援専門員(ケアマネジャー)が1名在籍している。ケアマネジャーを中心に、3か月毎にケアプランの見直しを行っている。また、その際には、職員間のみでの話や決め事になってしまわないように、ご本人・ご家族を交えてプランの作成を行い、説明をしている。引き続き継続していく必要がある。</p> <p>また、ここには、診療という部分も大きく関係しており、訪問診療という部分で、昨年度とは体制が変わった部分がある。彦根市立病院訪問看護ステーションと連携していたが、今年度4月に閉所となった。そのため、以降の連</p>	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>毎月のカンファレンスや3か月毎のモニタリング、目標項目で大切なところを毎日の振り返りチェック表で確認し、状態の変化時には、その都度話し合いを行い、介護計画を見直している。</p> <p>また、その都度家族に説明し、承認を得る。</p> <p>それ以外にも、今年度からは訪問看護ステーションとの連携ではなく、施設内看護師が3名体制となったことで、より綿密な主治医やご家族等との連携も図っていく。</p>

					携先について模索したが、施設内に赤松が看護師として、在職していることと、現在は、赤松以外にも2名の看護師が在籍している。計3名の看護師が、入所者それぞれの、かかりつけ医（協力医）と医療連携を行うために、サマリーを用いて連携を図り、お互いに情報共有ができるようにしている。入所者の現時点での、健康状態に応じた対応を行っている。また、上記については、家族にも情報共有しており、入所者の高齢化にも対応し、高齢者が健康であるということを意識している。介護の視点だけでなく、看護の視点も入れることは、以前の栄町グループホームでは、看護師の在籍が無かったため、できなかったが、3名の看護師が在籍していることで、近隣のグループホームと比較しても、なかなか存在しない。看護体制を強化しているグループホームということで、入所者の認知症を含めその他疾患の重度化は避けられないため、このような状況下においても、対応できる体制が構築されている。		
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別記録を毎日作成し、日々の様子やケアの実践、結果、気づき等を職員間で共有するとともに、ケア会議等の中でも振り返りの機会を設け、介護計画の見直しに役立てている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の個別介護記録作成や振り返り表のチェックを行うことで、日々の気づきや工夫を職員間で共有し実践や介護計画の見直しに活用していく。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族の都合がつかない時には、通院の付き添いに応じている。また、オムツ着用されている方のおむつ申請について、施設が市に提出している。 上記以外にも、入所者ご本人が個人的に必要とされる物品を調達することもある。	お一人おひとりについては、ご家族の状況もあり、申請上のことや、手続きが困難な状況の方もおられ、状況に応じて、施設が家族に代わって、連絡や申請に至るまで実施させていただくこともある。 その他、外出・通院介助等の支援も、柔軟に実施している。		本人や家族の状況、その時々ニーズに対応し、柔軟な支援やサービスが行えるように努めている。 入所者の高齢化を考え、家族の負担も考慮し、入所時に主治医の変更が生じなくても、年月の経過とともに主治医を協力医（連携医）へ変更していけるよう柔軟に対応をしている

				散髪等も定期的に来てもらっており、利用されている方もいる。また、生活保護や日常生活自立支援事業の利用もある。	家族からの依頼があれば、病院の付き添いを家族と一緒にいたり、受診が困難な場合は、往診を依頼し、医師の説明を聞き、家族へ連携を図る等の支援も行っている。		が、今後も引き続き、同様の支援ができるようにしていく。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<p>A. 十分にできている</p> <p>Ⓑ ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>例年、地域交流として活動していたが、コロナ禍以降中止となっている。</p> <p>今年度は、少しずつ地域交流の場に参加できるように配慮している。</p> <p>今年も、地域のふれあい作品展に作品の出品を行う予定である。</p> <p>その他、地域資源活用として、近隣の美容室を利用できるように調整も行った。直近では、まめ大師尊に定期的に参拝(近所の散歩も兼ねて…)している。</p>	<p>地域資源とは、地域との繋がりが大切であり、直近でも、自治会イベントに参加させていただいているところです。</p> <p>子ども会としては、草むしり事業は、行ったものの、時期的にもコロナ・インフルエンザ感染があり、多くの方が、参加できない状況となるなど…。</p> <p>また、城西社協とも、連携を図り、プランター栽培のお花をご提供いただくことができた。これについては、子どもたちと共にプランターに植えたお花をということでした。入所者も喜ばれ、お花の水やりを行うことが日課となった。プランター栽培は、夏・冬の2回の事業であり、直近でも、冬の花を提供いただいた。これらの活動も通して、地域との繋がりを大切にしていきたいところ。</p>		<p>今年度も、栄町自治会で開催された「ふれあい作品展」に、入所者の作品を出品することができた。また、その後、ふれあい作品展へ見学(近隣の散策も兼ねて)することが出来た。次年度にも継続していきたい。</p> <p>城西社協より、お花(プランター栽培)を提供(夏・冬の2回)いただき、入所者の日課(水やり)となった。今後も、地域社協との連携を図り、事業継続に向けて働きかけていく。</p> <p>子ども会との合同活動(クリスマス会・餅つき大会)については、インフルエンザ感染の影響(学級閉鎖等)にて、交流できなかったが、次年度以降は、検討していく。</p> <p>また、項目3、4と同様に、コロナ禍の影響で、合同訓練ができていないため、次年度以降の合同訓練が再開できるように、自治会と連携を図り、話し合いを行っていく。</p>
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<p>Ⓐ 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>利用者や家族の意向で、従来のかかりつけ医を継続されていたが、ご家族へ説明したことで、かかりつけ医が事業所との協力医へ変更となられた方が3名となった。</p> <p>また、かかりつけ医とは、定期的な訪問診療および定期受診の際に、サマリー提供を行、それ以外にも連絡を密に行い、利用者の健康管理に努め、適切な医療の提供ができるように配慮している。</p>			<p>受診等については、本人の希望に添えるよう家族とも話し合いを行っている。かかりつけ医(協力医)の依頼を行ったが、地域医療体制としてひっ迫している可能性もある。</p> <p>今後も、施設内看護師が、かかりつけ医と定期的な連携を図り、利用者の健康管理に努め、適切な医療の提供ができるようにしていく。</p> <p>また、往診にて利用者のコロナワクチン注射もお願いしており、実施できている。</p>

				必要に応じ、施設内配属の看護師が点滴静注の実施を行うこともある。 また、コロナワクチン接種に関しては、協力医の協力の下施設内での実施としている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入所者の入院に際しては、入院先医療機関に対して、情報提供書を送付するとともに、地域連携室とも日々の状態確認を行ったり、早期退院や今後の治療方針について情報交換や相談をしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院の際には、家族と相談の上、医療機関に情報提供を行い、入院先の相談員等と、頻繁に連絡(電話やメールを含む)を行っている。その都度、状態の把握に努めている。今後も、入所者の入院に際しては、退院後の生活に向けての環境整備にも努めていく。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	終末期対応指針書を作成し、説明の上契約している。 急変時における対応の同意を確認し、看取りが必要となった時点で、看取り支援確認書を交わしている。 看取り対応時、医師・看護師・家族・職員がチームで支援に取り組んでいる。 今年度も、当グループホームでの看取り対応となった方がおられ、各関係者(医師・本人・家族・看護師・介護職員・ケアマネジャー)の協力の下、看取り支援を行った。 エンゼルケアについても、当グループホーム看護師が実施した。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	方針や指針を文章化し、家族に説明し、話し合いを行い、終末期に移行した場合、医師と家族、施設内看護師、ケアマネジャー等が何度も話し合い、看取り支援確認書を作成している。エンゼルケアについても、施設内看護師により実施している。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	急変時の対応や事故発生時の応急手当について、看護師による内部研修を実施している。			当法人内看護師による急変時対応や事故発生時の応急手当等について、今後も内部研修を実施していく。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	緊急連絡網、避難経路図、マニュアル等を完備し、防災訓練を消防署の指導を得て実施している。地震や水害を想定した避難訓練も実施している。	災害対策ということで、BCP計画とは、事業所の業務継続計画のマニュアルを作成するように義務付けされており、令和6年3月までに施行ということが一つの起点となっている。たくさんの	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	非常持ち出し品の確保や見直し、発電機の定期点検の計画的に実施している。水害時も考慮しライフジャケットも完備している。今年度は、グループホーム単独で消防訓練を行った。地

				今年度も10月にグループホームのみで実施したが、地域との合同訓練は行えていないため、次年度の計画に予定する。3月末までにBCP計画の策定を行う。	業務継続計画の中、一言で災害と言っても、その中には感染症対策や、風水害・地震等の対策があります。また、これらについては、いつ起きるか分からないところであり、BCP計画という業務継続計画に含まれている。 会議参加者から「BCP計画とは何か？」との発言あり。 BCP計画について、再度説明する。業務継続計画書のことであり、災害時に、如何にして業務を継続していくかが、重要である。		震や火災・水害時の避難訓練を実施した。又地域へのアピールでいざという時の協力体制を築けるよう努める。また、項目3、4、20と同様に、コロナ禍の影響で、合同訓練ができていないため、次年度以降の合同訓練が再開できるように、自治会と連携を図り、話し合いを行っていく。
--	--	--	--	--	---	--	--

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に合わせた声掛けを心掛けている。日々の暮らしにおいて利用者のプライドを傷つけない、不快感を持たれない声掛けに努めている。プライバシー保護や法令順守、虐待防止等の研修を職場内・外部ともに計画開催し話し合いの場をもっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修の後には、振り返りシートの提出を行っている。また、利用者に対する声掛けや対応について反省する機会を設けている。日々のケアが、馴れ馴れしいものとなっていないか、尊厳は守られているのか等を、確認できるようにしている。 虐待防止として、虐待の芽チェックシートも定期的実施している。結果を研修会にも取り入れている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一日の過ごし方については、大まかには決まっているものの、本人の心身の状態や希望を優先しており、個別の状況(状態)に応じて、朝の起床時間から就寝時間まで過ごせるよう関わっている。			一日の流れは、大まかに決まってはいるものの、ご本人の心身の状態や、希望を優先している。朝の起床時間から就寝時間までを、個々の望まれるように過ごしてもらっている。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が、可能な範囲で、準備や片付けを、職員とともにやっている。 個々の食べる能力を考慮し、形態を変えて提供している。 適宜、利用者本人に対し、何が食べたいのかを聴取しながら、食欲がそそるような工夫を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	調理の匂いや、色合いを感じてもらえるように努め、また、入所者とチラシを見たり、メニューを決めるときには、意見を聞いたりしている。 施設内の畑で収穫した野菜や果物も食卓に並ぶこともある。 野菜の下準備や片付けも職員と一緒に楽しみながら出来るように努めている。

				又、行事の際には、豪華料理を提供し、楽しめる配慮を行っている。			
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月、体重測定を行い、一人ひとりの状態や、既往症等を考慮し、看護師とも話し合いながら、その方に櫃よと思われる食事量や栄養バランスを決めている。水分摂取についても、食事時間以外にも、コーヒータイム、入浴後やおやつ時、夜など、好きな時に提供し、水分の確保ができるよう努めている。			毎月の体重測定をみて一人ひとりの状態や持病等を考慮し、施設内看護師と話し合いを行って食事量や栄養バランスを決めている。水分摂取量については、1日中に、食事以外にコーヒータイム、入浴後やおやつ時、夜など、その人に応じた量を準備し、提供できるよう努めている。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食後に口腔ケアの声掛けや支援を行っている。また入れ歯は定期的に洗浄剤を使い、清潔を保てるようにしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食後の口腔ケアで歯ブラシがうまく使えず長年の本人の習慣から声掛けしてもがいのみとなる時は無理のない程度に介助し、入れ歯は都度職員が確認し清潔に保てるようにしている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄チェック表に記入した量や状態等で排泄状態を確認し、個々のサインを見逃さないように努め、トイレ誘導をしている。トイレの場所がわかり易いように馴染みの「便所」という表示をして自立支援を促している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	認知機能障害の影響にて、尿意や便意の訴えがない場合、本人の少しのサインを見逃さないように配慮している。認知機能低下の方にもわかりやすいように、トイレの表示「便所」と目線の高さに設置する等して、トイレ誘導を実施している。また、夜間も個々に応じたパッド等の工夫で快適に休んでいただけるように努めている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご本人の状態に応じて週2～3回程度、入浴していただき、入浴習慣やプライバシーを尊重している。又、浴室暖房や脱衣所の床暖房等で安全性・快適性を意識した入浴を支援している。			週に2～3回程度、ご本人の状態に応じて入浴してもらい、入浴習慣やプライバシーを尊重している。又、浴室暖房や脱衣所の床暖房等で安全・快適を意識した入浴を支援している。

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	適宜、ご本人の状態や身体の状態 に合わせて、居室で休息したり、 居間のソファで足を伸ばしてくつろ げるようにしている。又室内温度管 理でエアコンの調整や加湿器等の 導入し、安心して気持ちよく眠れ るよう支援している。			本人の状態や体の状態に合わせ て、自分の部屋で休息したり、居間 で居眠りしたり、ソファで足を伸ば して休んで頂いている。又室内温度 管理でエアコンの調整や加湿器等 の導入をし、安心して気持ちよく眠れ るよう支援している。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副 作用、用法や用量について理解してお り、服薬の支援と症状の変化の確認に努 めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の利用者(個々の用法・用量・処 方の内容)について理解、確認し、 薬が変更や中止となった時、症状 の変化に注視するよう連絡ノートで 共有できるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の個々の用法や用量、副作用な どの説明書をファイルにまとめて、い つでも確認できるようにしている。飲み 忘れや誤薬を防ぐため、飲む直前の 名前等の確認を徹底できるように努め ている。
35	役割、楽しみごとの 支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるよ うに、一人ひとりの生活歴や力を活かし た役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換 等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	洗濯物を干したり、畳んだり、野菜 の皮むき、ぬか漬けなどの家事 や、折り紙や季節の作品、フラワー アレンジメント、お経や歌、花の手 入れ等、それぞれが得意とするこ とができるよう支援している。	栄町グループホームには、施設の敷 地内に畑作業ができる環境があり、天 候が良ければ、畑作業を一緒に行つた り、草刈りをされ、日光浴なども行うこ とができます。これらを、日課としてい る方も存在している。直近でも、畑作業 を行って、えんどう豆を植えてみたり、 次の苗を植えるために、畝ができてい る。 社会資源ということとも直結するところ であるが、滋賀大学経済学部とも連 携(農福連携)を行っている。先生や学 生と共に、畑作業を行ったりされてい る。昨年は、畑作業というよりも、行事 として計画され、ボランティア活動を行 っていただくことに繋がった。これらの 活動は、地域社会資源として繋がって いきたい。		個々の生活歴や力を活かして役割 を持ってもらい、張り合いのある日々 を過ごせるように支援している。 また、その都度、感謝や称賛の言 葉かけをするように努めている。 地域社会資源との繋がりが、交流 となり、個々が役割を担う機会となる ため、継続的に連携していく。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸 外に出かけられるよう支援に努めてい る。また、普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かけられるよう に支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	天気の良い日には、施設内の屋外 で日光浴、近所の散歩、豆大師尊 へのお参りや庄塚公園へお花見に 行った。今年、コロナ禍明け初 の城まつりへ出かけることもでき た。コロナ禍明けのため、少しづ つ、以前の様な四季折々の行事の	日常的な外出支援とは、地域での行事(今 回で言うと、ふれあい作品展である)等 にて、入所者さんを見かけた際は、栄 町グループホームの人なんやな〜と、 見守っていただけることが第一歩であ る。今後の関係性の構築に向けて、よ り積極的に取り組んでいきたい。		感染予防対策を行いながら、近隣の 公園や豆大師尊へのお参りや散 歩、喫茶店などへ、機会を設けて、 外出支援を実施している。また、家 族との外出等でも、外食を希望した り、戸外に行かれることも、少しずつ できるようにしていき、実際に体験す

				外出、家族との食事等を支援していく予定である。			ることで、刺激がある生活を過ごせるように支援していく。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	金銭管理については、自己管理が難しいことと、希望もないため、家族等にて管理されている。しかし、ご家族にも確認の上で、少額(2000円程度)を所持されている方もおり、希望に応じて使っていただけるように支援していく。また、それ以外にも、買い物を自身の希望にて行きたいとの思いが強い方もおられるため、関係機関に連携を図りながら、介護タクシー等を手配し、近所の商店に買い物に行けるようにしている方もおられる。			自身での金銭管理が難しい方が、大半である。直近で、買い物希望される事例があり、家族等と相談しながら、金銭管理援助を行い、買い物支援が出来るようにも配慮している。その他は、一部家族も確認の上で少額を所持されておられる方もおり、個々の希望に応じて、使っていただけるように支援していく。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族や知人からの電話を本人に取り次いだり、希望があればこちらからオンライン面会や電話を掛けたりしている。また、手紙の返信や年賀状のやり取りができる環境を整えている。			家族や知人からの電話を本人に取り次いだり、希望があれば、ホームからオンライン面会や電話を掛ける等の対応も行っている。また、手紙の返信や年賀状のやり取りができる環境を整えている。現在は、携帯電話の使用者はいないが、過去に携帯電話の使用者も存在しており、個々に応じた対応を行っていく。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	居間や憩いの部屋には月ごとに利用者の作品を飾ったり、地域の人が撮った写真や、絵画、利用者の書初めを飾っている。台所からの調理の音や匂いが家を感じさせるとともに、温度管理や空気清浄に配慮し、居心地の良い共用空間を創っている		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域の人が撮ってくれた写真や利用者家族の絵画を飾ったりしている。また利用者間同士のトラブルがある時には、着座位置に考慮したりしている。季節の壁面飾りの作品作りにも利用者とともに取り組んでいる。住宅改修型施設であるため、温度管理にも注視し、対応していく。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の利用者とのコミュニケーションの中で、食べたいものや、やりたいことを聞いて思いに添った支援ができるように努力している。			毎日、利用者とのコミュニケーションから、趣味嗜好(食べたいものややりたいこと)を聞いたり、感じ取ったりして、本人の思いに添った支援ができるように努力していく。
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入所時の情報を元に、生活歴や友人関係、暮らしの習慣等を知り、ケアや支援につなげている。			入所前の情報や、入所時から変化している情報を元に、生活歴や交友関係、日々の暮らしや、習慣等を知り、ケアや支援につなげている。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	状態に応じて医師、施設内の看護師や、家族と連絡を取り、話し合い、職員の見守りや声掛けで安心してケア・支援を受けてもらっている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人が、健康面で不安な時には、その都度、施設内看護師等に相談を行い、必要に応じ、受診の必要性を判断し、必要に応じて受診につなげ、個々の不安が解消できるように努めている。また日々の体操や歌等で現状の健康面での維持を心掛けている
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	好きなテレビや好きな歌手のDVDを見たり、カラオケをしたり、本人の希望に添うよう支援している。居室では利用者同士でおしゃべりしたり、テレビを見たりして自分のペースで過ごされている。			持ち込み好きなテレビや、好きな歌手のDVDを見たり、本人の希望に添うように支援している。また、居室以外でも利用者同士でおしゃべり、テレビを見たりして、それぞれが自分のペースで過ごされている。
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今までご自身が使用していた布団や洋服、靴、写真、化粧品等、馴染みの物や大切にしている物を各自で持ってきていただいている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	持ち込み物については、化粧品、爪切りや耳かき等については、ご本人の認知症の進行状態により、家族に返すこともあり。以前、部屋で使っていた乳液が認識できずに飲み込もうとされていた事例もあるため、誤飲にも注意していく。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍で催事の開催には参加できていなかったが、少しずつ、豆大師尊へのお参りやご近所の散歩や、近隣の公園等へも、本人の意向を聞いて参加されている。今年度は、コロナ禍明け初の城まつりに行き、宅麻伸さんにみんなで一緒に手を振った。	少しずつ、豆大師尊へのお参りやご近所の散歩や、近隣の公園等へも、本人の意向を聞いて参加されていた。今年度は、彦根城まつりパレードを見に行くことができた。		外出時には、本人の意向を確認してから出かけるようにしている。コロナ禍も一旦終息したため、天候の悪化にてえびす講には参加できなかったが、彦根城まつりにも参加できた。また、今年度も昨年に引き続き、地域のふれあい作品展等にも参加する等、行動可能範囲での外出を試みていく。

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事やおやつ時の簡単な下準備や片付け、洗濯物干しや畳み、カレンダーめくり等の家事や様々なレクリエーションを本人が可能な範囲で楽しんで頂けるよう支援している。			食事やおやつ時の簡単な下準備や片付け、洗濯物干しや畳み、カレンダーめくり等の家事や、様々なレクリエーションを企画し、入所者本人が参加可能な範囲で、楽しんで頂けるよう支援していく。
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者同士で会話を楽めるよう席の配置を行い、職員からも昔話等が引き出せるように話しかけ、本人が得意なことを教えていただけよう努めている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	着座位置や配席も、なるべくコミュニケーションが楽しめるように配置している。日々の活動場面においても、その都度声掛けを行い、入所者個々の得手を發揮できるように配慮し、個々の生活が、充実したものとなるようにしていく。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	来訪者や近所の散歩で挨拶をしたり、近所の会館でのふれあい作品展に作品出品し、作品展に参加する等、感染予防を心掛けたうえでの交流を行っている。	これまでの項目と同様ではあるが、今後も、コロナ・インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症対策に気を付けながら、引き続き、地域交流を継続していきたいと思っている。 特に、感染症対策ということでは、社会情勢を見ながら、適宜、人混みを避ける等の対策をしていきたい。		グループホームへの来訪者や、近所の散歩等で、挨拶をしたり、近所の人と話しをしたり、ふれあい作品展等でも、立ち話をする場面がみられた。今後も、感染予防を心掛けたうえでの交流を行っていく。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本理念を土台とし、認知症研修会やケア会議や運営推進会議を行うことで、利用者に対して、より安心してより良い日々を送ることができるように常に努力している。	地域との関わりという部分において、私ども栄町グループホームは認知症高齢者の介護を通して、認知症のケアについて等、学習会(勉強会)等を地域で担わせていただけた部分がありましたら、私たちも、地域の社会資源としてご活用いただければと思っている。この場(運営推進会議)にて、このように、提案させていただき、地域の皆様とのつながりの足掛かりになればと思っている。 その他として、入所期間等について意見交換が行われた。 異例ではあるが、栄町グループホームにおいては、現在、3名の看護師が在籍しており、点滴や、吸引が必要な	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本理念を土台とし、認知症会議やケア会議や運営推進会議を行うことで、利用者に対して、安心して「ここが自分の居場所」と感じてもらえるように努め、より良い日々を送ることができるように常に努力している。 また、病状の進行や既往症の悪化にて、医療依存度が高くなったりした場合にも、安心して生活を送ることができるようにしていく。

					場合にも対応が可能。それ以外の、医療的処置にも対応できる。		
--	--	--	--	--	-------------------------------	--	--